

# クラウドサービスの現状と課題

PCNW IT活用研究会大阪

2010.12.10

# 今回のテーマの前提

---

- ▶ 論議はパブリッククラウド
- ▶ IAASで企業内システムのインフラをクラウド化することについて論議する
- ▶ どんな種類のシステムがクラウド化に適しているかの論議は前年度で行っているので今回は行わない

# クラウドのコストパフォーマンス

---

- ▶ 必ずコストメリットがある訳ではありません
- ▶ コストメリットを出すには、システム規模・構成・デザイン・特性およびデータ量からクラウドのニーズにマッチする必要がある
- ▶ Web系のシステムは移行が比較的容易
- ▶ データ量が一時的に突出して増加するものや短期間だけ運用するシステムはコストメリットがやすい
- ▶ 合併の多い業界などでシステム統合の際は工数を削減出来る

# クラウドのセキュリティ

---

- ▶ クラウドだからといってセキュリティホールが無くなる訳ではなく、通常の企業内システムと同じく脅威については変わらない
- ▶ クラウドのセキュリティは可用性の面で問題があると考えられる

# 仮想デスクトップのパフォーマンス

---

- ▶ 概ねネットワークのパフォーマンスに左右される
- ▶ IIMIOの実パフォーマンスをデモで確認
  - ▶ 十分に一般企業での活用が可能と思われる
- ▶ 3G携帯経由のIIMIOでの実パフォーマンスをデモで確認
  - ▶ 有線に比べると遅くなるのと3Gの電波状況に依存されることとなるがこちらも一般企業での活用が可能と思われる
- ▶ 海外からのアクセスについて
  - ▶ 一般的に中国からのアクセスが遅いがクラウド自体の技術では解消できない

# 情報システム部門は不要となるのか？

---

- ▶ システム開発部門では人数削減は可能
- ▶ 運用部門、システム管理部門では通常の業務が無限にあるため、人数削減に至らず、システム管理の別業務に従事することになるケースが多い
- ▶ クラウド化により逆に増員となったケースもあり